

令和4年度 調布市立上ノ原小学校 学校経営計画（学校長 箱崎 高之）

学校の教育目標	
◎よく考え 進んで学習する子ども ○思いやりをもち 仲良くする子ども ○健康で 明るく元気な子ども	
目指す学校像(ビジョン) 例) 学校像, 教員像, 児童・生徒像	
目指す学校像 【ごきげんな学校】 (1) 児童にとって 「よろこびのある毎日が送れる学校」 ・友達と関わるのできるよろこび ・学んで分かるよろこび ・心を解放して体を動かすよろこび ・自分の存在が認められるよろこび ・自分の成長が実感できるよろこび ・自分の将来に希望がもてるよろこび (2) 保護者, 地域にとって 「安心して任せられる私たちの学校」 ・開かれた学校→教育活動の積極的な発信 ・安心できる学校→素早く, 丁寧で誠実な対応 ・私たちの学校→協力, 協働の取組 (学校 HP, 学年だより, 来校機会確保) (子供の成長を願って共に悩み, 喜び) (地域学校協働本部 学校を核とした地域づくり) (3) 教職員にとって「ごきげんな職場」 ・風通しのよい明るい職場 ・やりたいことができる職場 ・成長できる職場 (まずは挨拶, コミュニケーションをしっかりと) (できない, やらない理由を作らずにチャレンジ) (学び, 成長する機会の確保 職に誇りと責任)	
ビジョンの設定理由 (本校の現状と課題)	○児童は, 学力が高く真面目であるが, 全体的におとなしく控えめである。体力テストの結果は, 全ての学年で全国平均の数値を下回っている。児童が自分のよさに気づき, 自分のよさを生かすことのできるよう, 環境を整え, 活気に満ちた学校にすることが課題である。 ○個別の支援を必要とする児童が一定数おり, 不登校及び不登校傾向のある児童も多い。家庭, SC, 関係機関と連携した組織的な対応を進めること。また, CS 導入に向けて地域学校協働活動を活性化させることが課題である。 ○学年担任制や教科交換授業を生かし, 校内研究やOJTを通して, 教員の指導力を向上させ, 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行うことが課題である。
中期的な経営目標	
① 人と人との良い関係を築く力の育成 ② 自ら課題を発見し, 解決していく力の育成 ③ 自ら心と体をきたえ, 命を大切にできる力の育成 ④ 学校・家庭・地域が共に子どもの育ちを支えていく関係を発展させる。 ⑤ 美しい環境の学校づくり 人・組 ・授業力の向上 ・校務分掌の活性化 ・服務規律の徹底 ・ライフ・ワークバランスの推進	

調布市立学校における共通した領域 <短期的な経営目標>		
1 豊かな心(徳)	2 確かな学力(知)	3 健やかな体(体)
(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)
① 主体的に考え, 議論する道徳授業を実践するとともに, いじめについて考える授業を全学年で各学期 1 回, 年間で 3 回行う。	① 週ごとの指導計画を作成, 提出し, 計画的に指導を行うとともに, 毎時間の授業においてねらい明示し, 振り返りを行う。	① 「上ノ原小スタンダード」を基に, 基本的な生活習慣や規範意識を培い, 規律ある学校生活を確立する。
② 心の居場所づくりに努めるために, 児童や保護者の声にしっかり耳を傾け, 素早く丁寧で誠実な対応をする。	② 「主体的な学び」「深い学び」を実現する授業を目指し, 「対話」の視点で授業改善を進める。	② ルールの遵守, 挨拶, 正しい言葉遣いについて全教職員による一貫した指導を行う。
③ 特別活動において, 集団の一員としての自覚を深め, 協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育む。	③ 発達の段階や実態に応じて教科交換授業に取り組み, 専門性の高い授業を実現する。	③ ねらいを明確にし, 運動量を確保した体育授業を行うとともに, スペースを確保した学年別外遊びを実施し, 運動の日常化を図る。
(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)
① 国・児童質問紙「いじめ, どんな理由があってもいけない」95%以上, 保護者アンケート「子供たちが安心して生活」A 評価 65%以上	① 市・魅力ある学校調査「授業がよく分かる」60%以上, 職員評価「授業改善 1」評価 4・50%以上	① 保護者アンケート「学習規律」A 評価 60%以上, 職員評価「学習規律の定着と向上」評価 4・65%以上
② 市・魅力ある学校調査「学校が楽しい」60%以上, 保護者アンケート「相談に誠実に応じている」A 評価 65%以上	② 市・魅力ある学校調査「主体的に取り組んでいる」45%以上, 職員評価「授業改善 2」評価 4・30%以上	② 保護者アンケート「挨拶, 言葉づかい」A 評価 45%以上, 職員評価「健全な心の育成」評価 4・65%以上
③ 市・魅力ある学校調査「みんなで何かをするのは楽しい」70%以上	③ 国・学力調査・国語 70%以上・算数 75%以上, 職員評価「交換授業」評価 4・90%以上	③ 都・体力調査「ほとんど毎日運動」50%以上, 「体力合計点」東京都平均以上
学校の特色を生かした領域 <短期的な経営目標>		
4 保護者・地域との連携	5 美しい環境の学校づくり	
(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)	
① HP を年間 100 回更新する。学校便り, 学年便り月 1 回発行する。	① 靴箱の靴をそろえることや清掃の指導を継続して行う。	
② 地域学校協働本部を生かして地域の教育力を活用する。	② 掲示板設置, 内壁塗装等の校内環境整備を計画的に行う。	
(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)	
① 保護者アンケート「学校だより, HP が効果的」A 評価 60%以上	① 靴箱の靴がそろっている学級, 清掃が行き届いた学級 50%以上	
② 保護者アンケート「地域と協力した教育活動」A 評価 50%以上	② 保護者アンケート「学校の環境改善がみられる」A 評価 60%以上	

人材育成・組織運営
○授業力の向上 ・学年担任制, 教科交換授業を生かした OJT の推進 ・校内授業公開 7 2 回実施による学び合いの機会確保 ・校内研究会の充実 ○校務分掌等の活性化 ・主幹教諭を核とした組織運営の推進 ・起案文書の流れを徹底し, 職の立場と役割を明確にし, 意識を向上させる。 ○服務規律の徹底 ・定期的な研修と服務ニュースレターを活用した校長講話により, 教育公務員としての自覚と人権意識を高める。 ○ワーク・ライフバランスの推進 ・校務支援システムを最大限活用し業務を効率化させることで, 週当たりの在校時間を 60 時間以内とする。